



2019年5月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年4月11日

上場会社名 アウンコンサルティング株式会社
 コード番号 2459 URL <https://www.auncon.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 信太 明
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 兼 専務執行役員 (氏名) 坂田 崇典
 四半期報告書提出予定日 2019年4月12日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 03-5803-2727

(百万円未満切捨て)

1. 2019年5月期第3四半期の連結業績(2018年6月1日～2019年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年5月期第3四半期	1,394	1.3	20		5		4	
2018年5月期第3四半期	1,376	3.3	14		19		21	

(注) 包括利益 2019年5月期第3四半期 6百万円 (%) 2018年5月期第3四半期 25百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年5月期第3四半期	0.63	
2018年5月期第3四半期	2.91	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年5月期第3四半期	1,259	748	59.4
2018年5月期	1,007	742	73.7

(参考) 自己資本 2019年5月期第3四半期 748百万円 2018年5月期 742百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年5月期		0.00		0.00	0.00
2019年5月期		0.00			
2019年5月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年5月期の連結業績予想(2018年6月1日～2019年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,029	7.0	20	101.5	13 ～ 22	88.2 ～ 222.6	6 ～ 15		0.85 ～ 2.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年5月期3Q	7,502,800 株	2018年5月期	7,502,800 株
期末自己株式数	2019年5月期3Q	株	2018年5月期	株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年5月期3Q	7,502,800 株	2018年5月期3Q	7,502,800 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(セグメント情報等)	P. 8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2018年6月1日～2019年2月28日)におけるわが国経済は、相次ぐ自然災害による経済環境への影響もある中、企業収益の改善を背景に、緩やかな回復基調で推移しております。一方、個人消費については、可処分所得の伸び悩みや節約志向の高まりの影響もあり、実感を伴った景気回復に向けては楽観視できない状況が続いております。また、米国の保護主義的な通商政策による世界経済への影響及び、地政学リスクの高まりなど、企業を取り巻く環境は不透明な状況が続いております。

当社グループの主たる事業領域である国内インターネット広告市場につきましては、大規模プラットフォームを中心に運用型広告の伸びが著しく、2018年のインターネット広告費は1兆7,589億円(前年比16.5%増)となり、地上波テレビ広告費1兆7,848億円に迫る規模になりました。(株式会社電通「2018年日本の広告費」)

また、インバウンド市場においては、西日本豪雨や台風、地震などの自然災害の影響により、訪日需要が停滞したものの、2018年の訪日外国人旅行者数は3,119万人(前年同期比8.7%増)と、統計を取り始めた1964年以降、最多となりました(日本政府観光局(JNTO)「訪日外客数」)。今後もアジア諸国の経済成長に伴う訪日旅行者数の増加及び、日本企業における外国人向けプロモーションの需要はますます高まることが期待されております。

このような状況の中、当社グループは収益力の安定と拡大を最優先課題とし、当連結会計年度においても「海外・多言語領域における収益のさらなる拡大」、「今後の収益の柱となる事業及び、サービスの開発」、そして、「人材育成・組織体制の強化」に注力し、業容の拡大を図りました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,394,244千円(前年同期比1.3%増)、営業損失は20,969千円(前年同期は営業損失14,369千円)、経常利益は5,940千円(前年同期は経常損失19,086千円)、親会社株主に帰属する四半期純利益は4,762千円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失21,848千円)となりました。

セグメント別の業績は、次の通りであります。

① マーケティング事業

マーケティング事業は、SEO(検索エンジン最適化)、PPC(検索連動型広告)、ソーシャルメディア、スマートフォン広告などの企業のマーケティング活動を支援する各種サービスを日本語及び、多言語で国内外の企業に提供しております。

アジア圏における旺盛な日本旅行需要を背景に、成長分野である多言語(日本語以外の言語)プロモーション領域において、官公庁・自治体関連の入札案件への参加及び、セールスプロモーションの強化など、新規営業に注力してまいりました。

しかしながら、一部顧客の一時的な広告出稿の停止や国内向け日本語PPCサービスの契約終了の影響をカバーするまでには至らず、前年対比で売上及び、利益はマイナスで推移いたしました。

今後益々拡大が予想される海外・多言語マーケティング需要に対応すべく、グローバル人材の採用及び教育に対する投資を継続的に取り組んでまいります。

以上の結果、当事業における売上高は1,307,255千円(前年同期比3.3%減)、セグメント利益は97,515千円(前年同期比25.5%減)となりました。

② アセット事業

アセット事業は、当社グループの海外進出の経験により蓄積した知見を活かし、企業用のオフィスや海外出向者向けのコンドミニアムなどインフラ提供や海外不動産の販売及び仲介を行っております。

当第3四半期連結会計期間においては、フィリピンの連結子会社が保有する販売用不動産の売却及び顧客保有物件の転売が売上拡大に寄与いたしました。

今後も安定的に収益を確保できる体制を構築できるよう、プロモーション活動及び新規提携デベロッパーの開拓等、積極的な活動を継続するとともに、当社グループの収益に貢献できる事業へと成長させてまいります。

以上の結果、当事業における売上高は86,989千円(前年同期比253.3%増)、セグメント利益は5,175千円(前年同期はセグメント損失28,105千円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて22.0%増加し、984,848千円となりました。これは、主に受取手形及び売掛金の増加によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて37.4%増加し、274,845千円となりました。これは、主に投資有価証券の増加によるものであります。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて46.1%増加し、348,937千円となりました。これは、主に買掛金及び1年内返済予定の長期借入金の増加によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて512.3%増加し、162,148千円となりました。これは、主に長期借入金の増加によるものであります。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて0.9%増加し、748,607千円となりました。これは、主に利益剰余金の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間に関しましては、概ね計画通りに推移しているため、2018年7月13日発表の業績予想に変更はありません。今後、何らかの変化がある場合には適切に開示して参ります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	444,801	521,518
受取手形及び売掛金	214,591	335,532
販売用不動産	86,069	49,976
仕掛品	273	750
その他	65,273	79,784
貸倒引当金	△3,658	△2,713
流動資産合計	807,351	984,848
固定資産		
有形固定資産		
建物	35,826	36,528
減価償却累計額	△19,799	△21,101
建物(純額)	16,026	15,426
工具、器具及び備品	40,166	40,456
減価償却累計額	△36,404	△37,240
工具、器具及び備品(純額)	3,762	3,215
建設仮勘定	44,335	46,040
有形固定資産合計	64,124	64,683
無形固定資産		
ソフトウェア	3,706	2,983
無形固定資産合計	3,706	2,983
投資その他の資産		
投資有価証券	87,879	168,144
長期貸付金	12,895	5,979
敷金及び保証金	30,802	31,008
その他	768	2,062
貸倒引当金	△79	△15
投資その他の資産合計	132,266	207,178
固定資産合計	200,096	274,845
資産合計	1,007,448	1,259,694
負債の部		
流動負債		
買掛金	136,070	202,822
1年内返済予定の長期借入金	—	46,879
未払費用	28,242	24,498
未払法人税等	3,233	2,756
前受金	13,767	17,069
賞与引当金	989	2,496
その他	56,512	52,413
流動負債合計	238,816	348,937
固定負債		
長期借入金	—	132,733
長期前受金	22,669	26,526
その他	2,435	2,827
繰延税金負債	1,375	61
固定負債合計	26,480	162,148
負債合計	265,296	511,086

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年2月28日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	341,136	341,136
資本剰余金	471,876	471,876
利益剰余金	△76,926	△72,164
株主資本合計	736,085	740,847
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,081	139
為替換算調整勘定	2,910	7,619
その他の包括利益累計額合計	5,992	7,759
新株予約権	72	-
非支配株主持分	0	0
純資産合計	742,151	748,607
負債純資産合計	1,007,448	1,259,694

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2017年6月1日 至2018年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自2018年6月1日 至2019年2月28日)
売上高	1,376,249	1,394,244
売上原価	981,913	1,008,557
売上総利益	394,336	385,686
販売費及び一般管理費	408,705	406,655
営業損失(△)	△14,369	△20,969
営業外収益		
受取利息	98	155
解約手数料等	638	241
為替差益	-	6,940
投資事業組合運用益	15,664	18,061
その他	4,340	2,033
営業外収益合計	20,741	27,433
営業外費用		
支払利息	17	495
為替差損	25,101	-
その他	340	28
営業外費用合計	25,458	523
経常利益又は経常損失(△)	△19,086	5,940
特別利益		
新株予約権戻入益	15	72
特別利益合計	15	72
特別損失		
固定資産売却損	40	-
事務所移転費用	-	617
特別損失合計	40	617
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△19,111	5,395
法人税、住民税及び事業税	2,736	633
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△21,848	4,762
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△21,848	4,762

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年6月1日 至 2018年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2019年2月28日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△21,848	4,762
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,960	△2,942
為替換算調整勘定	△651	4,709
その他の包括利益合計	△3,612	1,766
四半期包括利益	△25,460	6,528
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△25,460	6,528
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	△0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自 2017年6月1日 至 2018年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)	合計
	マーケティング事業	アセット事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,351,629	24,620	1,376,249	—	1,376,249
セグメント間の内部売上高又は振替高	774	—	774	△774	—
セグメント利益又は損失(△)	130,852	△28,105	102,747	△117,117	△14,369

(注) 「調整額」の区分については以下のとおりであります。

1. セグメント利益又は損失は、各報告セグメントに配分していない販売費及び一般管理費の全社費用であります。

当第3四半期連結累計期間(自 2018年6月1日 至 2019年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)	合計
	マーケティング事業	アセット事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,307,255	86,989	1,394,244	—	1,394,244
セグメント間の内部売上高又は振替高	164	—	164	△164	—
セグメント利益又は損失(△)	97,515	5,175	102,690	△123,659	△20,969

(注) 「調整額」の区分については以下のとおりであります。

1. セグメント利益又は損失は、各報告セグメントに配分していない販売費及び一般管理費の全社費用であります。